

整序・語形変化 No.2(仮定法・分詞・make)

L2 発展

Class _____ No. _____ Name _____

レベル:L2(自校作成・大阪C問題レベル)	目標時間:15分	満点:100点(自己採点)
-----------------------	----------	---------------

今日の主役は仮定法——「現実とちがう願い」を過去形で表す型。I wish I could ~ と If I were ~ を、手が勝手に動くまで。

設問 場面に合う正しい英文を作ろう。並べかえの問題は、3番目と5番目に来るものの組み合わせを選ぶ。

問1(15点) 次の対話の()内の語を、最も適切な形にしたものはどれか。 A: I don't know what to say to Mr. Kato... B: If I(be)you, I would ask him directly. ア am イ were ウ will be エ be	()
問2(15点) 次の対話の()内の語を、最も適切な形にしたものはどれか。 A: Who is that boy(run)over there? B: That's my brother. He runs every morning. ア run イ runs ウ running エ ran	()
問3(15点) 次の日本語に合うように[]内の語(句)を並べかえると、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「上手に泳げたらいいのになあ。」 I [wish / I / could / swim / well]. ア 3番目:could / 5番目:well イ 3番目:I / 5番目:swim ウ 3番目:swim / 5番目:could エ 3番目:well / 5番目:I	()
問4(15点) 次の日本語に合うように[]内の語(句)を並べかえると、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「その知らせは、私たち全員を悲しくさせた。」 The news [made / all / of / us / sad]. ア 3番目:all / 5番目:us イ 3番目:us / 5番目:all ウ 3番目:sad / 5番目:of エ 3番目:of / 5番目:sad	()
問5(20点) 次の日本語に合うように[]内の語(句)を並べかえると、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「ギターを弾いている少女は、私の妹です。」 The girl [playing / the guitar / is / my / sister]. ア 3番目:the guitar / 5番目:my イ 3番目:is / 5番目:sister	()

ウ 3番目:my / 5番目:the guitar エ 3番目:sister / 5番目:is	
--	--

問6(20点) 次の日本語に合うように[]内の語(句)を並べかえるとき、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「もし晴れていたら、いっしょに釣りに行けるのに。」 If it were sunny, [we / could / go / fishing / together]. ア 3番目:could / 5番目:fishing イ 3番目:fishing / 5番目:go ウ 3番目:go / 5番目:together エ 3番目:together / 5番目:could	()
--	-----

とき終わったら かかった時間(分 秒)→ 次のページの解説で自己採点 → 得点(/100点) まちがえた問題こそ宝。解説の「誤答の切り方」まで読むと、次の1枚で点が変わる。
--

解答一覧(まず自己採点)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	得点
イ	ウ	ア	エ	イ	ウ	/100

問1 正解 **イ**(15点) | 仮定法の if は were——「現実とちがう」の合図

根拠 「もし私があなたなら」——実際には私はあなたではない＝現実とちがう仮定。仮定法では if の中の be動詞は主語に関係なく were。あとの would ともセット。If I were you, I would ask him directly.

誤答の切り方

ア	am(現在形)だと「私があなたである」現実の話になってしまう。
イ	were——仮定法の be動詞。I でも were を使うのがルール。
ウ	will be は未来の予定。仮定法の if に will は入らない。
エ	be(原形)は if の中に置けない。

🔑 この形式のコツ 「もし私が～なら…するのに」の形を見たら、①if の中は過去形(be は were)②主節は would/could——このペアを探す。あとの would が仮定法の何よりの証拠。

問2 正解 **ウ**(15点) | 名詞の後ろの分詞——「している最中」は現在分詞

根拠 that boy()over there＝「向こうで走っている少年」。少年は走る側(する側)＋今まさにしている→現在分詞 running が後ろから説明。that boy running over there.

誤答の切り方

ア	run(原形)は説明の位置に置けない。
イ	runs は文の動詞の形。ここでは is がすでに文の動詞。
ウ	running——「走っている少年」。現在分詞の後置修飾。
エ	ran(過去形)も説明には使えない。

🔑 この形式のコツ No.1の spoken(される側)とペアで覚える——boy running(する側・～ing)／ language spoken(される側・過去分詞)。後置修飾の2枚看板として並べて暗唱する。

問3 正解 ア(15点) | I wish + 主語 + could——かなわない願いの型

根拠 完成文=I wish I could swim well. 並び=①wish ②I ③could ④swim ⑤well。「実際には泳げないが、泳げたらなあ」——I wish のあとは仮定法で could(canの過去形)。

誤答の切り方

ア	wish → I → could → swim → well。3番目 could・5番目 well。
イ	I の直後に swim が来ると could の置き場がなくなる。
ウ	swim が could より先には来ない。助動詞→動詞の順。
エ	well が3番目に入ると願いの中身が切れる。

🔑 この形式のコツ I wish I could ~(~できたらなあ)は5語ワンセットの型。仮定法は「型の暗唱」が最強の対策——I wish I could swim. を10回言えば、この整序は一生解ける。

問4 正解 エ(15点) | make + 人 + 形容詞——「人を～(の状態)にする」

根拠 完成文=The news made all of us sad. 並び=①made ②all ③of ④us ⑤sad。〈make + 人 + 形容詞〉の「人」の部分が all of us(私たち全員)にふくらんだ形。

誤答の切り方

ア	all が3番目になるのは made が先頭(2番目)にない並び。
イ	us が all より先には来ない。all of us のかたまり。
ウ	sad が3番目では「誰を悲しくさせたか」が消える。
エ	made → all of us → sad。3番目 of・5番目 sad。

🔑 この形式のコツ make me happy の「me」が all of us / my parents のようなかたまりに変わっても、型は同じ〈make + 人 + 形容詞〉。人の部分を[]でくくって1語のように扱って、長い整序も同じ速さで解ける。

問5 正解 イ(20点) | 分詞のかたまりが主語を長くする——動詞 is の位置を見きわめる

根拠 完成文=The girl playing the guitar is my sister. 並び=①playing ②the guitar ③is ④my ⑤sister。主語=The girl playing the guitar(ギターを弾いている少女)という長いかたまり。その直後に文全体の動詞 is が来る。

誤答の切り方

ア	the guitar が3番目だと playing と離れてしまう。playing the guitar はセット。
イ	playing the guitar → is → my sister。3番目 is・5番目 sister。
ウ	my が3番目では is より先に補語が来てしまう。
エ	sister が3番目では文が組めない。

🔑 この形式のコツ 後置修飾の整序は「どこまでが主語のかたまりか」に線を引く——The girl playing the guitar / is / my sister。is の位置が決まれば残りは自動で並び。

問6 正解 ウ(20点) | 仮定法の後半——could+動詞の原形+α

根拠 完成文=If it were sunny, we could go fishing together. 並び=①we ②could ③go ④fishing ⑤together。仮定法の主節は〈主語+could+動詞の原形〉。go fishing(釣りに行く)のかたまり+together。

誤答の切り方

ア	could の直後は動詞の原形 go。fishing が先には来ない。
イ	fishing が go より先には来ない。go fishing のかたまり。
ウ	we could → go fishing → together。3番目 go・5番目 together。
エ	together が3番目に入りこむと could go のかたまりが切れる。

🔑 この形式のコツ 仮定法の整序は前半(If+過去形)と後半(主語+would/could+原形)のペア確認から。go fishing / go shopping / go camping——〈go+～ing〉のかたまりも合わせて覚えておく。

今日の文法メモ——まちがえた問題の型をここで確認

問1	仮定法 if——be動詞は were・主節に would/could
問2	現在分詞の後置修飾——boy running(する側)
問3	I wish I could ～——かなわない願いの5語ワンセット
問4	make+人+形容詞——「人」がかたまりでも型は同じ
問5	長い主語——分詞のかたまりに線を引き、is の位置を決める
問6	仮定法の主節——could+原形+go fishing のかたまり

もう一段のぼる 仮定法は2021年から中学範囲に入った「新しい顔」——入試での出題は増え続けている。No.3は総仕上げ、5つの型のミックス。

先生向け・運用ノート 自校作成・難関校向け(15分+自己採点)。仮定法は「型の暗唱」推し——I wish I could swim. / If I were you, I would ～. の2文を帯で毎日音読させると強い。配点は問1～4各15点・問5～6各20点。